校訓 渾身勉学 白鳥蘆花に入る

白　鳥

学校教育目標　夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成

令和８年度
千代田東部小学校学校だより
NO.６
令和８年 ５月 ８日
文責 筒井 学

上級生の優しさと１年生の成長を感じた歓迎集会



５月１日（金）新入生歓迎集会が行われました。プログラム②「１年生の紹介」では、3年生の呼名に「はい。」と一人ずつ元気よくはっきりと返事ができました。プログラム⑥「１年生より」では、体育館いっぱいに聞こえる声で上級生へのお礼の言葉が言えました。入学式から１か月も過ぎていないのに、すっかり小学生らしく成長しているその姿にうれしくなりました。また、事前の計画や準備、本番の進行などに進んで取り組んでくれた上級生の優しさも感じ、心が温かくなりました。

みんなでなかよく「次郎とのふれあい遠足」



「白鳥蘆花に入る」の説明を聞く子どもたち

歓迎集会の後は「次郎とのふれあい遠足」に出発です。前日は夜中まで雨が降っていて、開催できるか心配していましたが、朝には所々に青空がのぞくよい天気となりました。きっと、子どもたちの日頃の行いがいいのでしょう。

学年が違う子どもたちが集まった縦割り班で行動しながら、下村湖人先生や「次郎物語」にゆかりのある場所を訪ねて地域のことを学習しました。初めて聞く内容が多くて、私も勉強になりました。

ゴールである中津河川敷までの道のりは長いので、途中できつくなるお子さんがいるのではないかと心配していましたが杞憂に終わりました。「おなかがすいた。」というお子さんは多かったのですが、全員、元気に目的地にたどりつくことができました。



お弁当の時間は自然と笑みがこぼれます。

立つ鳥跡を濁さず

遠足の最後には、みんなでごみ拾いをしました。風が強い日だったのですが、その日に落ちたごみはほとんどありませんでした。千代田東部小学校の子どもたちのマナーの良さに感心した場面でした。



「だ、る、ま、さ、ん、が、こ、ろ、ん、だ」



手をつないで なかよく